【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和4年4月15日(2022.4.15)

【国際公開番号】WO2021/024336
【出願番号】特願2021-538553(P2021-538553)
【国際特許分類】
*Ｇ０１Ｓ 13/90(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｓ 13/90 １９１

【手続補正書】
【提出日】令和4年1月24日(2022.1.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
高さ情報を有する地図の座標をＳＡＲ画像の座標に変換する座標変換手段と、
座標がＳＡＲ画像の座標に変換された前記地図から、２枚のＳＡＲ画像から生成される位相差画像において位相不連続が生じうる部分を判定し、位相不連続が生じうると判定された部分に重みを付与する重み計算手段と、
前記重みを使用して前記位相差画像の位相アンラップを行う位相アンラップ手段と
を備えた位相アンラップ装置。
【請求項２】
前記位相アンラップ手段は、前記重みを使用して前記位相差画像における位相不連続境界を算出する不連続部算出手段と、前記位相不連続境界を避けて位相の積分を行うアンラップ処理手段とを含む
請求項１記載の位相アンラップ装置。
【請求項３】
前記重み計算手段は、位相不連続が生じうると判定された部分における画素間に相対的に小さい重みを付与し、
前記不連続部算出手段は、位相差が所定値よりも大きい領域の両端の間の最短経路を、画素間の重みを考慮して算出し、算出した最短経路を前記位相不連続境界とする
請求項２記載の位相アンラップ装置。
【請求項４】
前記位相アンラップ手段は、位相アンラップ前の位相と位相アンラップ後の位相の差を最小化することによって位相アンラップを行う
請求項１記載の位相アンラップ装置。
【請求項５】
ＤＳＭを格納する立体地図記憶手段を備え、
前記座標変換手段は、前記ＤＳＭの座標をＳＡＲ画像の座標に変換する
請求項１から請求項４のうちのいずれか１項に記載の位相アンラップ装置。
【請求項６】
地物ごとに高さ情報が付与されている二次元地図を格納する立体地図記憶手段を備え、
前記座標変換手段は、前記二次元地図の座標をＳＡＲ画像の座標に変換する
請求項１から請求項４のうちのいずれか１項に記載の位相アンラップ装置。
【請求項７】

画素ごとに高さ情報を有する二次元地図を格納する立体地図記憶手段を備え、
前記座標変換手段は、前記二次元地図の座標をＳＡＲ画像の座標に変換する
請求項１から請求項４のうちのいずれか１項に記載の位相アンラップ装置。
【請求項８】
高さ情報を有する地図の座標をＳＡＲ画像の座標に変換し、
座標がＳＡＲ画像の座標に変換された前記地図から、２枚のＳＡＲ画像から生成される位相差画像において位相不連続が生じうる部分を判定し、位相不連続が生じうると判定された部分に重みを付与し、
前記重みを使用して前記位相差画像の位相アンラップを行う
位相アンラップ方法。
【請求項９】
前記重みを使用して前記位相差画像における位相不連続境界を算出し、前記位相不連続境界を避けて位相の積分を行う
請求項８記載の位相アンラップ方法。
【請求項１０】
コンピュータに、
高さ情報を有する地図の座標をＳＡＲ画像の座標に変換する処理と、
座標がＳＡＲ画像の座標に変換された前記地図から、２枚のＳＡＲ画像から生成される位相差画像において位相不連続が生じうる部分を判定し、位相不連続が生じうると判定された部分に重みを付与する処理と、
前記重みを使用して前記位相差画像の位相アンラップを行う処理と
を実行させるための位相アンラッププログラム。